

食品展参加を香港進出の足がかりに！ ～日本ふるさと名産食品展 in 香港を開催して～

交流支援部経済交流課

自治体国際化協会では、昨年度に引き続き「日本ふるさと名産食品展」を香港そごうにて開催しました。多くの参加企業の皆様に、有益なテストマーケティングの機会として、活用していただくことができました。

一時は開催が危ぶまれるも、盛況のうちに終了

食品展開催前は折しも中国での反日ムードが高まりを見せていた時期であり、一部の参加企業から「食品展を開催しても大丈夫なのか」「スタッフを派遣しても安全か」と心配する声が聞かれました。結果的には全ての参加企業にスタッフを派遣していただき、通常と変わらず食品展を開催することができました。



多くの買い物客で賑わう売り場

食品展参加はテストマーケティングに最適！

食品展開催中はちょうど中国本土の国慶節の連休と重なっており、香港全土が中国大陸からの観光客で賑わっていましたが、客の多くが試食には手を伸ばすものの、購入にはあまり結びつきませんでした。結果、9日間で約91万香港ドルの売上げとなり、昨年度（2012年2月1日～7日）の同展での7日間で約100万香港ドルの売上げと比べると、やや低調に終わりました。

しかし、参加企業にアンケートを行ったところ、8割の企業が食品展への参加を「非常に有益/やや有益」と回答しており、その理由としては「目の前で消費者の生の声を聞くことができたこと」、「様々な企業とのネットワーク構築や商

【食品展概要】

開催日時	2012年10月1日(月)～9日(火)
開催時間	10:00～22:00 (1～6日は22:30まで)
開催場所	中国・香港特別行政区 香港そごうコースウェイベイ店
対象者	一般消費者
出展者数	23事業者(13地方自治体)
出展内容	約150アイテム 【農水産物】りんご・梨・豚肉・サーモン・椎茸・なまこ・雑穀米など 【加工品】うどん・そば・茶・醤油・わさび・菓子・酒・ドレッシングなど
販売総額	約91万6千香港ドル (1香港ドル≒10円)
販売个数	約12,600個

談が行えたこと」などが挙げられました。本食品展は、全国の企業同士の情報交換、連携を深める場としても活用していただけるのが特徴です。

また、同アンケートでは、20 社中 15 社が、自社商品について「市場開拓の可能性が十分ある／多少ある」と回答しました。今後の香港市場開拓の計画について、「香港の消費者の嗜好に合った商品開発をする」「パッケージを変更する」「業務用を中心に販路開拓を行っていく」など、有益なテストマーケティングの場となったことが伺えます。

売上げが減少した要因は、「開催時期」「日本食品の買い控え」「中国の景気減速」など複数の要因が考えられます。香港そごうの担当者によると、同展は同時期の他の物産展に比べて好調だったという話もあり、今後開催時期も含めて検討していきたいと考えています。

商談会を利用して香港進出への足がかりを！

食品展開催期間中に、香港日本人倶楽部にて商談会を開催しました。食品展参加企業のうち 4 社が参加し、香港側バイヤー 10 社と合計 24 コマの商談を行いました。本商談会では、バイヤーから見積もり請求のあった企業や、今後継続的に話を進めていくことになった企業など、参加企業は大きな手応えを感じていました。



和やかな雰囲気での商談

【商談会概要】

開催日時	2012 年 10 月 8 日 (月) 13:00~19:00
開催場所	香港日本人倶楽部 18 階「松の間」
商談コマ数	24 コマ (日本側参加企業：4 社、香港側参加バイヤー：10 社)
運営委託会社	香港貿易発展局

今後は東南アジアでの開催も視野に

今回の食品展は、前回に比べ売上げは少なかったものの、商談が進み、今後の香港進出の足がかりとなった企業が増加しました。同じ場所で継続して食品展・商談会を開催することは非常に重要であることを改めて感じ、今後も継続して支援を行っていきたいと考えています。また、来年度には東南アジアでの食品展も視野に入れており、地元企業の海外展開支援に取り組む自治体にとって、有益なテストマーケティングの機会を提供していきます。

【出展に関するお問い合わせ先】：自治体国際化協会 経済交流課

TEL：03-5213-1726

(交流支援部経済交流課 蒲池主事)